

広島県中小企業団体中央会 2019年6月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

広島県東部菓子商工業協同組合

ドラッグストアが食料品販売に力を入れており、勢いがある。

地方発送のある企業は運賃負担の大きさに疲弊している。

中国醤油醸造協同組合

6月の出荷量は前月比0.2%増加、前年同月比2.4%減少となり、売上高は前月比2.4%減少、前年同月比4.4%減少となった。

木材・木製品

●木材・木製品

福山木材協同組合

今月は多忙であったが、先行きは不透明である。

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・令和元年5月の全国の住宅着工戸数は72,581戸で前年同月比8.7%減少
- ・季節調整済年率換算値では90.0万戸(前月比3.3%減少)
- ・利用関係別では、持家は24,826戸で前年同月比6.5%増加、貸家は26,164戸で前年同月比15.8%減少、分譲住宅は21,217戸で前年同月比11.4%減少
- ・木造住宅着工は42,218戸で前年同月比2.7%減少
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で2ヵ月連続の減少となった

<広島>

- ・広島県内の5月の着工戸数は1,266戸で前年比15.8%減少、このうち持家は452戸で5.4%増加、貸家は391戸で前年比28.0%減少、分譲は414戸で前年比8.6%減少
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で2ヵ月振りの減少となった
- ・地域別では広島市が着工戸数502戸で30.9%減少、福山市が319戸で15.8%減少、廿日市市は35戸で2.8%減少、呉市は25戸で55.4%減少、大竹市は20戸で25.9%減少の一方、東広島市は134戸で65.4%増加、三原市が20戸で81.8%増加と地域によって繁忙感に差はあるが、プレカット工場の稼働はばらつきがあるものの、全体に高い水準を保っている。平成30年7月豪雨の被災地復興需要の有無により業者や地域間に繁閑差がある。

広島県北部国産材加工協同組合

6月末のG20大阪サミットは木材の流通にもマイナスの影響を与えた。

丸太供給過多の声が聞かれ、丸太相場は引き続き弱含みである。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

紙の需要が減少する中、再度印刷の役割や機能について考えてみると、伝えること、記録することに集約される。この2つの機能に磨きをかけると同時にデザインを提案し、顧客が困ったときに頼れる存在となるような関係性を構築することが必要である。価格だけの繋がりとは一線を画した、価値の共有を目指していくことで業界の維持発展を目指していきたい。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から大きな変化はない。

中国経済の落ち込みほどではないにせよ、日本国内でも徐々に仕事量が減りつつある。

材料ロスだけではなく、段取ロスにも手を打っていく必要がある。短いスパンで細分化した受注データ収集も求められる。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

自動車関連は生産調整により減産傾向にある。全体的には売上は現状を維持している。

今年は不安定要素が多く、先行きが懸念される。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

元年6月 3,041m³ (前年比14.93%増加)

元年5月 3,026m³

30年6月 2,646m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

軀鉄鋼協同組合連合会

組合員が1名増加した。

この秋から外国人技能実習生を受け入れる組合員が数社ある。採用難もあるが、若手が入社してもすぐ辞めてしまうため、技能実習生を受け入れたいとの要望も多い。

技能実習生の自転車の交通マナー、ゴミの出し方、火災の際の119番通報など生活する上で最低限のマナーの徹底が図れていないように感じる。監理団体と実習実施者が連携し生活する上で最低限のルールの徹底を図ってほしい。

一般機器

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、操業はフル稼働を継続しているが、前月比22.0%減少、前年同月比0.5%減少となった。

世界景気の先行き不透明感による、受注キャンセルも発生している。

出島工業会協同組合

組合員企業の動向については特に大きな動きはないが、若干落ち込みが見られる。

組合の課題としては、役員の高齢化と世代交代である。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月は稼働日が通常に戻ったため、前月比11.0%増加、前年同月比3.0%減少となった。輸出が低迷しており、装置向けが厳しい。

最低賃金の上昇は経営を圧迫している。残業規制への対応に苦慮しそうである。

働き方改革を推進するのであれば中小企業の生産性向上、合理化に対し補助金等による支援をお願いしたい。

取引先からはコストダウン要請があるが、人件費の上昇を吸収しきれない状況にある。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。

- ・6月の国内自動車販売台数は全需が450千台、前年同月比0.7%減少と3ヶ月振りの前年割れ。登録車も前年同月比0.9%減少と3ヶ月振りの前年割れ、軽自動車も前年同月比で0.5%減少と3ヶ月振りの前年割れ。マツダ車は27.4%減少と4ヶ月連続の前年割れ
- ・アメリカの5月の全需は1,590千台で前年同月比0.2%減少と4ヶ月連続の前年割れ。マツダ車も同16.0%減少と11ヶ月連続の前年割れ
- ・欧州の5月の全需は1,605千台で、前年同月比2.1%減少と9ヶ月連続の前年割れ。マツダ車も同7.2%増加と5ヶ月振りの前年超え
- ・中国の5月の全需は2,208千台で、前年同月比3.6%減少。マツダ車は同29.0%減少と13ヶ月連続の前年割れ
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の5月の海外販売合計台数は107千台、前年同月比12.9%減少と9ヶ月連続の前年割れ
- ・マツダの5月の輸出動向については、輸出台数は前年比7.1%増加と2ヶ月連続の前年超え
- ・マツダの5月の国内生産台数は、前年同月比7.0%増加と2ヶ月連続の前年超え

●輸送用機械器具（造船）

（一社）中国小型船舶工業会

中小造船業は前月と大きな変化はない。

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の令和元年6月の船舶建造許可実績は3隻114,900総トン（前月6隻411,050総トン、前年同月3隻174,100総トン）であった。なお、内訳は全てが輸出船で、貨物船が1隻、油槽船が2隻であった。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

全体としては、大型連休後の反動減の影響が続いている中で、米中貿易摩擦の激化等の悪いニュースが重なり、停滞感がある。

「資材関連」においては、足元の景況感は厳しく今後も消費税率引き上げや米中貿易摩擦の行方等不透明感が強く悪化が見込まれる。

「雑貨」においては、メーカー等からの値上げ要請もあり、得意先への価格転嫁はタイムラグもあり苦

戦している。

「食品」においては、物流コスト増加の影響もあり業績は引き続き厳しい。消費税率引き上げへの対応は遅れ気味である。

「繊維」においては、物流のコストアップ、従業員の高齢化に少人数経営では十分な対応策が見いだせず、対応が後手となり厳しい状況が続いている。

最低賃金の上昇や近隣商業施設との人材獲得競争により、中小企業は賃金コストが上昇し、人手不足感も継続している。

売上は一進一退で大きな変化はない。人件費、配送費、燃料費が上昇傾向にあり依然厳しい。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県4月の住宅着工状況は、前年比9.7%増加、内訳として持家は13.2%増加、分譲32.8%減少、貸家15.6%減少と、持家が増加しているのは、消費税率引き上げ前の駆け込み需要ではないかと考えられる。

昨年は記録的な猛暑で空調機の販売が好調であったが、今年は涼しい気候が続いており、空調機の出だしが鈍いように感じている。

●卸売業（家具）

リビンズ株式会社

6月末で店舗売却により1店舗閉店した。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国産畳表の取引状況は、各方面での展示会が開催された効果から堅調に推移している。特に先月より販売取扱量も2割程度増加した。販売価格も安定している。

産地では、新草の成長も例年並みで推移している。梅雨は、い草の成長を助けるためある程度の雨量を望んでいる。

一方、中国産のい草の成長は少し伸びが短い様子ではあるが、芯はしっかりしたものとなっている。生産量が減少していることから、高値が予想される。

国産表も中国産表も生産量は総じて減少傾向である。畳表の将来を心配している。

小売業

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

青果は前年並みの入荷となり相場安が落ち着いてきたが、果実、鮮魚はともに入荷が減少し相場高が続いている。

鮮魚はイカの不漁などにより相場高から値上げ、物量の減少、売上減少と負の連鎖が続いている。

青果の売上は前年比減少している。スーパーは売り上げを維持しているが、中小小売業者の売上は減少傾向にあり、業界内格差が広がっている。

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

6月は衣料品、食料品店舗の売上が好調であった。

QR決済システム導入が進んでおり、約半数の店舗で導入済みである。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比3.9%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比7.2%減少、冷蔵庫同0.7%増加、洗濯機同5.7%減少、IHクッキングヒーター同3.6%減少、電気温水器同8.5%減少、エアコン同7.9%増加となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

OPECが協調減産の延期で合意したものの、原油価格の変動は比較的抑えられている。仕入価格の変動が少ないとはいえ上昇しており、上昇分を小売価格に転嫁しにくい事が石油販売業が疲弊する要因の一つとなっている。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

毎年恒例の呉中央地区商店街合同の土曜夜市が7月20日と8月3日に開催される予定である。また、昨年は西日本豪雨により中止となった花火大会が開催される。呉中央部のにぎわいづくりの一助となることを期待している。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比28.8%増加、前年比13.0%増加

車検場収入は、前月比28.6%増加、前年比12.3%増加

重量税・登録印紙の売上は、前月比5.1%増加、前年比14.8%増加

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

参議院選挙の看板により多少稼働したが、全体的に受注は減少した。

●警備業

広島県警備業協同組合

人手不足が続いている。

●情報サービス

(一社) 広島県情報産業協会

技術者不足が続いている。

受注量について、今月は例年通りであるが7、8月は増えていく見込みである。半導体業界からの組み込みシステムの受注が落ち込んでいる。

建設業

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、6月度は前月比62.7%増加、前年同月比72.4%増加、前年累計比29.8%増加となった。大型物件が重なり、壁装が好況である。

神辺建設業協同組合

人手不足、原材料の高騰が続いている。

福山地区電気工事業協同組合

- ・ 今月の工事受注件数は、前月比4.7%減少、前年比2.8%増加となった。
- ・ 第1四半期は過去2年と比較して約10%程度増加している。内訳も前月同様新築以外の件数は増加傾向にある。
- ・ 消費税率引き上げ前の駆け込み需要による件数増加を期待している。
- ・ 今年度に入っても作業員不足は解消されず、益々深刻化している。

運輸業

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

今月の貨物輸送量、売上高は前月比横ばいで、前年同月比減少となった。貨物輸送量の動向は、初旬、下旬はあまり動きがなく、中旬は増加した。下旬の関西方面はG20開催による交通規制の影響があったようである。

物流全体の流れとしては、在庫を抱えず状況を見つつ発注するようになりつつある。10月の消費税率引き上げに向けて駆け込み需要があるのではないかと期待と不安が交錯している。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

6月の荷動きは前年比大きな変化はない。しかし、食料品、飲料などは比較的順調な荷動きであった。

広島輸送ターミナル協同組合

多くの業種において荷動きが悪かった。

自動車部品関連、鉄鋼関連などは米中貿易摩擦の影響が出ているのではないかとと思われる。

昨年ほど気温が上がらず、飲料も在庫が増えている。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

5月は連休等により売上は減少し、収益悪化となったが、6月の仕事量は増加している。前年同月比に大きな変化はない。

7月は広島県の地価調査基準地評価作業があり、今年は固定資産税の評価替えによる公的評価があるためその作業に取りかかっている。

地価は依然として平地の利便性の高い地域を中心に上昇傾向が続いている。

地価の高騰により地元業者の仕入にやや様子見感があるものの、資金力のある県外事業者が依然として高値で仕入れているようである。